婦人と新社會

山田わか主筆

五月號

組織か人か？

婦人の情緒に關する誤解

普選の生命

◆普選と國費

◆輿論の過程

◆普選と輿論

形式的社會事業の弊

◆經濟的救濟の失敗

◆短期の修業が失業の源泉

久野ひさ子女史の死と
石川れつ子さんの目ざめ

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
大正十四年四月廿三日印刷納本

毎月一回一日發行　第六十二號　大正十四年五月一日發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

組織か人か

今迄に實現された民主々義は國民の期待を裏ぎつてゐますが、さて、其の原因は民主々義的機關にあるのか又は其の機關を運用する人にあるのかと云ふこと、及び、其の病源を除去するには層一層民主々義的にしなければならぬかと云ふことが問題になつてゐます。

勿論、それ等の問題に對する識者の答へは、より善良なる投票者、公徳心の高い役人と云ふことであり、又その他の人々はよりよき方法、よりよき機關、よりよき組織と云ふことでありますが、併し、思ふに、組織が人に反動すると同じく人が組織に反動するものであることを考へる必要があると思ひます。

組織がよければ惡いことはしたくも出來ないと云ふ人もありますが、併し、善き組織が出來るに付ては正直な善き人が先づ存在してゐたことを私共は考へなければなりません。

一方には又歴史的にものを見るならば、惡人が有効な改革の道具になつてゐる、つまり、惡人が澤山あつたゝめに有力な法律が出來たと云ふことも度々あります。

處で、眼界をさう云ふ狹い處にのみ限らずに、もつと廣く見るならば、國民の指導者の位置にある人、則ち高位高官にある人にも惡性な部分つまり人間としての弱點があるので其處に社會改革の心臓があるのです。

約言すれば、善性をより多く持つた意志の强い則ち善人並びに善き組織が必要と云ふことになるのです。正直でも意志の弱い人は組織が惡るければ勿論失敗するし、善き組織も腐敗させてしまふかも知れません。ですから、民主々義も其の機關も必ず惡いと云ふことは出來ない。

何となれば、民主々義にも其の機關にも禍患が伴ふのは止むを得ません。樂天主義が危險ならば悲觀主義も同じく危險です。要は指導者の有無と其の指導者の誠意の問題です。（本號普通の生命參照）

婦人の情緒に關する誤解

傳統的心理學說は、婦人はより情緒的であると斷じてゐました。より情緒的である故に、科學、推理、及び、その他の理論には男子よりも劣つて居り、唯、倫理的行爲・つまり育兒・看護・宗教又は、慈善事業に於てのみ婦人は成功すると云つてゐたのです。

けれども、現代の心理學はさう云ふ考へを覆へしてゐます。なぜなら、情緒と云ふものは人間の心の一部に單獨に特別に存在してゐるものではなく、生命及び思想と切り離すことが出來ないものつまり、生命及び思想の一部となつて其れ等の要素と共存してゐるのです。

あらゆる方面に於ける偉大なる人々、學者でも、藝術家でも、宗教家でも、又は、社會改革家でも、社會を動かす程の大きな仕事を爲しとげた人々は、皆、偉大なる情緒の持主でありました。その偉大なる情緒が燃へ上がつた時、その人の知力が有力に働き出したのです。

ものを解剖したり、抽象したり、又は、創作をしたり、或は、又、大冒險をしたりする刺戟となるものは其の情緒です。そして、其の情緒は壓迫を受ければ受ける程强大なる力となつて燃へ上が

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ります。

ですから、昔の心理學の斷案は當つてゐないのです。つまり、此の情緒なるものは男にも女にも同じようにあるが、唯、知力の劣つてゐる多くの婦人に於ては情緒が情緒で終つてしまつて、それが合理化されないと云へるのです。

偉大なる人物に於ては、情緒が何ぞ爲そうとする企と平均を取る。其處で偉大なる仕事が出來るのです。ですから、今日迄の女と男とを比較するならば、女子の情緒よりも男子の情緒がより多く働いてゐたと云ふことになるのです。と云つて、婦人は情緒を合理化し得ないと云ふのではありません。唯、今迄の男女を比較した時には男子の方にそれが多かつたと云ふに過ぎないのです。

傳統の磐石の下闇に押しひがれてゐた女性の理智は活發に働き得ないでゐたと云ふに過ぎなかつたのです。

現代婦人の常に不安に襲はれてゐる意識と比較した時には却つて過去の婦人の人格に、、より大なる統一と落ち付きがあつたと云つてゐる人がありますが、それは、今の婦人には幾分解放された情緒を合理化する能力を缺いてゐる故でありませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

普選の生命

普選と國費

世界列强の後を追ふて いよ〳〵普通選擧をものにした我が國民は、其の普通選擧の盃が一杯にならないことに對して不服を云ひながらも、とにかく。今や喜びの絕頂にあるようです。政權がいよ〳〵一般國民のものとなり、民意を實行に移し得る機關が出來たからと云ふのです。

そして、民意を發表する手段は 昔の希臘及び羅馬共和國の發明にかゝり、今日の凡ての文明國に於て採用されて居る投票によるのでありますが、さて、此の投票なるものが完全に民意を代表し得るものであるかどうか？ 大きな疑問が其處には橫つて居ります。

なぜなら、投票者のうちには自分の意見と云ふものを持つてゐないで、他人のいゝつけに從つたり、他人の勢力の下に、又は、脅迫や買收で投票するものもあるでせう。して見ると、投票によつて現はされた民意と云ふものがまことに當てにならない、一言で云へば、民意と云ふものが何處に

あるか分らないと云ふことになります。そして、最近共和國になつた國々が其の實例を少なからず示して居ります。

又、民主々義國が最も自慢とする處は、適材適處と云ふことが行はれて仕立屋が代議士になつたり大工が市長になつたりと云ふことでありますが、併し、これは例外のうちの例外であつて執るに足らない問題です。

民主々義と云ふと、人は直ちに平等を思ふのでありますが、併し、民主々義の平等は單なる看板に過ぎないものです。なぜなら、國家其れ自身が腦髓及び富の不平均から成立してゐます。世界のうちの最も偉大なる共和國と稱されてゐる米國が其の不平等を最も著しく現はしてゐます。

複雜な投票と云ふ迷宮を利用して、權力や役目をこまかく分割するとか、輿論を起すとか云ふ彌次連の演說等を利用して少數の人々が彼等自身の利益のために國民の人權なるものを蹂躙してゐるのが米國です。ですから、民主々義と云ふものは一種の空想であるとも云へます。

それから、又、普選を採用する政府は最も單純な形式のものであり、且つ、經費のかゝらない政治であると云はれて居るのでありますが、併し、それ等が詭辯であると云ふことも多くの學者が認

めてゐる事實です。政治に參與するものゝ數が殖へれば殖へる程、費用も亦嵩むと云ふのは自明の理です。現に、米國では一票に付て十圓ばかりづゝかゝつてゐると云ふことです、のみならず、民主々義的になればなる程、役人の數が多くなつて行くと云ふ事實も多くの民主國に於て厄介視してゐることです。

もう一つ忘れてならないことは、民主々義は其の心髓に於ては平和主義でありますが、併し、一朝、國際關係が危機に迫まつた場合ひなどは最も危險になる。戰爭とならなくともすむ事を粗雜な民衆の感情が戰爭を惹起するようになる。故に有効な裁判を下し得る國際法廷無しには民主々義は危險であると云つてゐる學者があります。合衆國が歐洲大戰に參加したのも大部分は民衆の感情の力であつたと云はれてゐます。民主々義の失敗は大規模の失敗であるから、失敗がある度毎に國の基礎がゆるむ。故に、民主國の國民は常に地震に脅へてゐるように脅へてゐなければならない、そして、其の例は佛蘭西が既でにく示してゐるとも云はれてゐます。それから、又、民主々義の非常に困る點の一つ、恐しい脅威は日々に增加する極端なる課税、不可能な義務の增長だとも云はれてゐます。

で、一般投票の弊害を除去する方法に關しては昔の希臘から始めて今日に至る迄、先覺者達によつていろ〳〵な說が公表され、其の文献の量は素晴らしいものとなつてゐます。それ等の過去をもつて現在及び將來の光りと爲そうとする努力は實際非常なものであつても、併し、民主々義なるものは依然と複雜なるものであり、研究すればする程雲がかゝつて來て分らなくなると云ふ實狀です

輿論の過程

併しながら、一度、普通選擧が實施と云ふことになつた以上は、もう、どうすることも出來ません。どうにかして最善に運用することを考へるより外に仕方がないのです。そして、どうしたらよいか？　と云ふと、先づ、第一には普通選擧の缺點をよく知ることです。その病源が何處にあるかと云ふことを知つて置かねばなりません。

けれども、これは、僅かな頁數でかたづけてしまうには餘まりに大きな問題です。で、こゝには普通選擧を有効に運用するには絕對に必要である健全な輿論と云ふことに付て聊か云つて置きませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人々の考へと云ふものは混雜した凝聚力のない每日々々變つて行く無結晶體であります。けれども、その種々な混雜したものゝ中にも、或る一つの問題が起り、そして、それが重要なものとなつた時にはいろ〳〵と整理し直され、透明にされ、ツイには、其處から或るハッキリした意見が現はれて來ます。そして、其の意見に國民の大部分が賛成して、其の意見によつて行はれる力を輿論の力と云ふのです。又は、或る主張や提案を賛成したり、しなかつたりして、かくして、それが指導力となるのです。

一つの學說とか、意見とか、又は、實際上の提案を支へてゐる感情の流れがあるとします。その一つの感情の流れが他の感情の流れよりも强くなる場合があります。それが强くなるわけは、その感情の流れの裏面には外の感情の流れの裏面よりもより多くの人數が控へてゐる、或は、より强い信念があるからです。そして、その一つが明らかに最も强くなつた時に其れが輿論であるのです。かくの如き意見、それを支へてゐる感情は國民の大部分の意見及び感情を代表するものだからです。そして、この輿論の力には誰でも從はなければならない。內閣も立法部も、其の輿論を無視して進んで行くことは出來ないのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の意味に於て、國民が主權者であると云へるのです。實に、國民の意志が明らかに知られた時には、それが最高權威として認められなければなりませんから。

處で、輿論は一ヶ所に落付いてゐるものはでありません。常に、たゞようてゐるものです。そして、此のたゞようてゐる處に付け込むものが煽動屋です。一夜造りの僞りの輿論なるものを製造しては宣傳の力によつて國民の感情を煽ります。そして、國民は常に宣傳の結果の僞りの輿論と、本當の意味の神聖な輿論とを見誤まらせられてゐます。

普選と輿論

宣傳の結果の僞りの輿論と、本當の意味の神聖な輿論との區別が付かないような國民は實は自治制を持つ價値はないのです。けれども、もし、その區別を見分けることが出來て、本當に純粹な健全な輿論を國民が造り得る資格があるならば、そして、その輿論によつて政治機關を動かし得るならば、その政治機關は如何なる革命的の暴力に出逢つても安全です。そして、さう云ふ健全な輿論を造るには、先づ二種の人々が必要です。建設的批評的態度の人々、つまり、知力階級の人々が國

民の問題を常に眞面目に熱心に研究し討究し、そして、確實なる意見を公衆に提供する。そして、これが輿論の提案になるわけです。處で、この提案をして勢力あるものと爲すにはもう一種の人々が必要です。それ等の人々は受動的ではあるが、人の言說をよく讀みもし、聽きもする。そして、社會に對する義務と云ふ標準から諸問題を考へ、宣傳などに迷はされず、眞面目な知力階級の意見を國民を指導するものとして尊敬する模範を大衆に示す人々です。要するに、輿論の提案者はそれ等の第二の階級の人々によつて選まれたものなのです。で、此の二種の人々が本當に誠意をもつて貫く大衆をひきいることによつてのみ普通選擧は有効に運用されるものであります。

けれども、我が國の知力階級乃至其の知力階級の意見に正當なる判斷を下し、その意見の採用不採用を決定する中流階級が果してそれだけの資格を備へてゐるかどうか？ 前者は外國の議論の受け賣りに忙しいのみならず、餘まりに煽動氣分を含んでゐはしまいか？ 後者は、又、餘まりに自己中心主義者で淫弥で、到底、現在並びに將來の社會の利益を標準としてことを計らうとするような態度の人々では無さそうに思へる。

折角、贏ち得た普通選擧ではありますが、考へて見ると、果して有効に行使し得るや否や？ 心

許ない限りであります。

形式的社會事業の弊

經濟的救濟の失敗

社會が墮落する要素は必ず經濟的であると云へます。なぜなら、人々が目前の慾望を過度に滿たそうとすることがいつも墮落の原因になつてゐます。

今日迄の社會を批判するには經濟的に解釋して見るのが最も分り易い、そして、此處につけ入つたものが則ち唯物史觀でありました。

けれども、墮落した社會を復活させるには經濟の力ばかりでは不可能です。經濟的に現在の慾望を滿たそうとしたことが墮落のもとであつたのですから、其の經濟的の手段で復活を計つても、其れは出來ないことです。經濟的慾望其のものは惡いものではないのですが、併し、その慾望の個人的實行主義は脫線し易いので、そして、それが社會的病源となるのです。

其處で、經濟的慾望の個人の實行主義は、それを社會的の實行主義に切りかへて見る必要があります。云ひかへれば、個人の行爲の結果を社會的に試驗して見ること、つまり、其の行爲が社會に害となつてゐるか、又は、益となつてゐるかを調べて見る必要があるのです。

社會的實行主義、つまり、個人の行爲をして社會的に有益ならしむるには、それが心理的であり人格的であらねばなりません。で、此の心理的人格的の實行主義者を造るために教育、宗教、及び其の他の社會施設が必要です。

近時、社會事業と云ふものがなか〳〵盛んになりましたが、併し、社會事業家は一つ〳〵の事件の根據が經濟的であることを認めても、併し、それを經濟的に救濟しようとすれば必ず失敗します經濟的要素に心理的人格的要素が包含させられなければならないのです。目前の經濟的滿足を與へるのは勿論必要でありますが、それは無制限に與へられるものでも無し、又、無制限に與へてはならないものです。

のみならず、今日の社會事業の仕方は餘まりに形式にのみ流れてゐると云ふ觀があります。形式に流れてゐると云ふことは入費ばかりかゝると云ふことです。そして、維持費を造るに忙しくて實

際の仕事の方が出來ないと云ふことになります。或る計畫が始められては倒れ、出來かゝつては消滅する理由は此處にあります。

本當の意味の救濟は救濟される人の心の中へ這入つてしまはなければ出來ないことです。人の心に這入り得るだけの人格と人の心を洞察し得るだけの經驗が無ければ出來ないことです。それだけの資格を備へない人の救濟事業は先づ成功覺付かない。

それだけの資格がないのに社會事業をしようとすれば形式で行くより外に道がない。そして、それは入費倒れがして長續きがしないことは前にも申ました。救濟の基礎が有限な金であつては長く續く筈がありません。

それに反して、無盡藏な人格、無盡藏な經驗により個人並びに社會を救濟しようとする人こそ本當の意味の社會事業家であります。

短期の修業が失業の源泉

どんなにやさしそうな仕事でも熟練と云ふことが必要です。誰にでも出來る掃き掃除のような仕

事でも慣れない人は矢張り下手です。ですから、裁縫、料理、大工左官と云ふような、又は科學知識を必要とするような仕事は熟練とまでは行かず唯一通り知るだけでも三年や五年はかゝります。

であるのに、此の頃は三月乃至六ケ月で一つの職業を修得させようとすることが流行です。そして、これが失業者製造の根源となつてゐます。三月や六ケ月の修業で人に喜ばれるような巧みな仕事が出來るようになるわけがありません。

手の先きで物品を取扱ふ仕事を修得するのにさへ可なりな年月を要します。ですから、人の精神を取扱ふ社會事業家を三月か半年で養成しようとすることは亂暴も亦甚しいものであります。そして、此處にも亦失業者製造の根源があるのです。

理想を云へば、社會事業家も生れでなければなりません。他の言葉をもつて云へば其の天才でなければならないのです。學問、藝術、又は、事業の經營が天才を待つように社會事業も天才の手によつて始めて完成されるものです。けれども、天才と云ふものはめつたに生れるものではありませんから、少なくとも天才に近い處に迄才能を修得せしむる方針を取ることこそ必要でありますが、短時日に於て重大なる使命を持たねばならぬ社會事業家を養成しようとすることは害あつて益のないことを考へなければならないと思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

久野ひさ子女史の死と石川れつ子さんの目ざめ

◇多くの女性の情緒は合理化されなかつたと本號の卷頭文に書いて置きましたが、今その實例を久野ひさ子女史から投げ與へられたような心持ちが致します女史の死は實に痛ましい限りであつて發し當つては適當な哀悼の言葉も見出せない位ひでありますが、それはそれとして、且つ、又、如何なる事情があつたかは今の處分らないとしても、とにかく、女史の理性は女史の感情を適宜に處置することが出來なかつた。燃へ上がる強烈な情熱を盛るにはうつはが小さかつたと云ふことは爭はれない事實であらうと考へられます。

松井須磨子さん、三浦環さんの場合にしても同じで、沸騰する蒸汽を有効に運用するには釜が小さすぎるので、ひゞが入つたり破れたりしたのです。世間にはそれが藝術家の生命であるように又許されねばならぬことであるように云ふ人がありますが併し如何なる天才も矢張り此の社會の一員である以上、自己あることを知つて社會あることを知らないのは自他の不利益です。殊に藝術は對社會のものであり社會がなければ無用なものでありますから其れを自分一個の理由でむざ〳〵滅してしまうことを肯定することはできません。女性の情緒の合理化と云ふことに付ては女子教育家の再考を要する點であります。

◇石川れつ子さんの婦風會入りは結構なことです。けれどもこれを大いに宣傳した人は彼女に對し、社會に對し彼女の慾りを完ふさせる大責任を帶ぶるものです。でないと好宣傳が惡宣傳となる恐れがあります。

本誌臨時定價表

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

誌代及郵税は前金の事御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと郵券代用には五厘切手にて一割增廣告は御照會次第御相談いたします

大正十四年四月廿三日印刷納本
大正十四年五月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區山吹町一八九
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社
振替東京五三六八八番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN